

## 「学び・遊び・つなぐ」プロジェクトがスタートしました！

<https://www.tottori-u.ac.jp/institute/docs/507793b39c3f39615a3af4526215cd23cae2d93a.pdf>



### 2023 年度「鳥取大学の特色ある教員養成方法としての『学び・遊び・つなぐ』プロジェクト」

(学長裁量経費採択事業)がスタートしました。

今回が第 10 回目となる本プロジェクトは、教員養成センターが 2014 年度から継続的に実施している事業です。毎年、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員を目指す学生や興味のある学生が多く参加し、教育現場の現状や役割、教員という仕事について理解を深める機会となっています。

「学び」(学びの教室、学びの座談会)、「遊び」(遊びの教室、ブッククラブ)、「つなぐ」(つなぐ教室、トークプログラム)で構成するこのプロジェクトでは、今年度も鳥取大学で免許取得が可能なすべての学校種の現職教員ほか、幅広い分野からゲストを講師に招くなど、計 18 回からなるプログラムを開催します。

10 月 30 日に開催した「学びの教室」には、講師として岩美町立岩美中学校の黒岩健太郎教諭にお越しいただきました。黒岩先生からは、教師の喜びや現場の実情などを、ご自身の授業動画や理科実験を交えてお話いただき、ワクワクや笑顔があふれる魅力的な「教室」となりました。

参加した学生からは、次のような感想が寄せられ、黒岩先生のお話に関心を揺さぶられた様子が伝わってきました。

「『教師の喜びは生徒の笑顔』と話されているのを聞き、もうすぐ始まる教育実習では、生徒のことを想像しながら指導案を作ろうと思った。単位のために授業をすることがないようにしたい。」

「今回の講義を通して、教師になりたいという気持ちが大きくなった。」

「毎日授業を受ける生徒にとって、何か一つでも楽しさを感じたり、教科を好きになってもらう工夫をしたい。」

「教師は大きな未来を持った子どもたちに寄り添い、成長を支援できるというやりがいのある職業だと認識した。」

「教育実習を通して実感した喜びや辛さは、実際に教師になって長時間子どもたちと関わることで、何倍も大きくなることを知った。」

「プロとして授業を大切にしなければならないという言葉が心に刺さった。」

11月、12月も引き続き、盛りだくさんのプログラムを開催中です。ぜひ、ご参加ください。



中学校の理科実験を体験中！